

歴代理事長・顧問からの言葉



発刊おめでとうございます

Congratulation on Publication of Bulletin !

Yoshio Nikawa

日本電磁波エネルギー応用学会理事長(2007-2011)

国土舘大学教授、理工学部長 二川 佳央

〒154-8515 東京都世田谷区世田谷 4-28-1

e-mail: nikawa@kokushikan.ac.jp

日本電磁波エネルギー応用学会機関紙の発刊誠におめでとうございます。

電磁波エネルギー応用は、クリーンで高効率であることに加えて選択性の高い、低炭素化社会に向けた優れた技術として大きな注目を浴びています。この技術の利用により、設定温度までの到達時間の短縮化、無駄のない均一加熱の実現が可能で、導電性の高い金属加工から、幅広い電磁気的特性を有する粉体加熱が必須である製鉄からセラミックス等に至る低損失材料の高速焼結まで、あらゆる材料の高速、高効率加熱が可能となります。電磁波は新しい時代の革新的エネルギーとして新材料の合成、化学反応の高速化に至るまで、工業・医療・科学分野を中心に、環境・福祉分野も含めた技術応用分野に拡大・展開することに期待が寄せられております。

電磁波エネルギーの応用技術を扱う学術団体として、わが国では過去に「マイクロ波応用技術研究会」および「日本電磁波応用研究会」が相互に情報を交換しながら発展してきました。これらの研究会活動を更に学術的・技術的に統合することで、電磁波エネルギー応用に関する、充実した教育、研究活動と普及啓発を行うための組織活動を「日本電磁波エネルギー応用学会」(英語名: Japan Society of Electromagnetic Wave Energy Applications -JEMEA-)として、2007年5月に東京都より特定非営利活動法人として認証を受け、活動を始めてから8年を迎え、この機に機関紙の発刊に至ったことは誠に喜ばしいことと存じます。

海外では、この分野における北米、カナダを中心とした学術団体の活動として、International Microwave Power Institute (IMPI)が組織されており、欧州では、Association for Microwave Power in Europe for Research and Education (AMPERE)が組織され、それぞれ学術誌、Newsletterが発行され活発な教育・研究・普及啓発活動が行われており、日本電磁波エネルギー応用学会の機関紙は、海外との情報の架け橋としても大きく貢献することになるかと存じます。

この度の日本電磁波エネルギー応用学会機関紙の発刊を機に、革新的な電磁波エネルギー応用技術を会員の皆様方により深くご理解頂き、これらを安全に安心して使えるよう、さらに新しい技術を育ててゆく機会になりますよう、会員の皆様、関係各位のご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。